

議会だより

7月号



第11回 全国水産・海洋高等学校カッターレース大会

も く じ

- 6月定例議会 補正予算など・・・P2～P4
- 一般質問・・・P6～P9
- 教育民生常任委員会・・・P11

- 総括質疑・・・P5
- 総務産業建設常任委員会・・・P10
- 医療対策特別委員会など・・・P12

6月補正予算

本年度予算総額は138億3210万円に

緊急雇用対策に 3億8000万円



町執行部は議案提案を慎重に！

6月定例議会は6月26日に開会され、提案された議案と、議員から提出した3件の議案をすべて全会一致で可決・承認し、7月3日閉会した。

主な議案は、緊急雇用対策を中心とした3億8000万円の一般会計補正予算のほか、条例改正、工事請負契約の締結、報告案件、特別委員会（行財政改革・公共交通対策）の設置などである。

今議会で補正予算として提案された事業の内、2つの工事が議会の議決を経ないまま発注されたことが、副町長の予算の詳細説明で判明した。議案の付託を受けた2つの常任委員会では、町の一連の対応に反省と早急な改善を求めた上で、いずれも緊急性が高かったことから、一般会計補正予算は可決することとした。

町執行部は、最近、議案の撤回なども続いており、議案の提案に当たっては慎重な対応が求められる。

補正予算の概要

主な歳入

- 国の補助金が
1億2594万円増額
隠岐島町油槽所整備のための補助金や災害復旧のための補助金。
- 県の負担金・補助金が
1億1876万円増額
緊急雇用創出のためのものや強い農業づくり、妊婦健診などの補助金。
- コミュニティ助成事業
補助金150万円増額
自主消防防災組織育成のための補助金。
- 基金からの繰入金
338万円減額
生活対策臨時交付金積立分から9405万円取り崩し、町債返還のための基金に9743万円をもどす。
- 町債(借金)を
1億3930万円増額
油槽所整備、蛸木牧野整備、災害復旧事業を実施するため借入れる。



6月定例議会 補正予算など

主な歳出

◆油槽所整備工事 2億956万円追加

油槽所の整備のため、3月議会で6億339万円の補正予算を決定していたが、今年度新たに2億956万円が追加され総額約8億1295万円が整備する。概要は別表のとおり。



油タンクの整備で安定供給を！

◆蛸木牧野整備事業 1億740万円追加

蛸木地内に牧野を整備するため、当初予算に5000万円が計上されていたが、追加割り当てがあり、総額1億5740万円が整備する。事業の概要は、管理用道路の整備や草地造成などである。

◆生活対策臨時交付金 積立基金の事業 9400万円

◆旧空港ターミナル改修事業 3045万円
企業立地支援を目的に旧空港ターミナルを改修し、民間企業がコールセンターを設置するため、使用させる。

◆公共施設地デジ対応テレビの整備 3275万円
保育所・小中学校・観光施設などの公共施設に

◆観光施設イメージアップ事業 900万円
都万地区の屋那の船小屋の屋根が老朽化したため、杉皮の吹替え等を行う。



よりよい教育環境の整備を

◆AED設置事業 450万円
保育所・小中学校などにAEDを設置する。

◆島根県の緊急雇用 創出対策の事業等 5700万円

◆町道等環境整備事業 1500万円
町道・農林道附近の支障木除去や側溝清掃を行うもので、約6ヶ月間で10人程度の雇用対策を図る。

◆町有林管理事業 900万円
布施地区町有林の林層を調査し台帳整備を行うもので、約6ヶ月間で9人程度の雇用対策を図る。(ふせの里に委託)

◆松くい虫被害危険除木処理事業 1000万円
松くい虫被害による危険木(約1400本)の伐倒作業などの処理を行う



急がれる危険木対策

◆循環型社会形成事業 732万円
五箇地区における地域振興対策の生ゴミ堆肥化や地域ブランド商品開発を行うもので、約10ヶ月間で4人程度の雇用対策を図る。(さちの島に委託)

◆景観保全事業 450万円
浄土が浦など景勝地の歩道整備や除草・除伐を行うもので、約6ヶ月間で6人程度の雇用対策を図る。(ふせの里に委託)

油槽所整備の概要

◇工事費(廃油・建物等撤去・配管・電気・消火設備等)	442,683千円
◇施設整備費(事務所・倉庫・舗装・海上出荷設備等)	146,360千円
◇財産購入(土地・油タンクなど)	132,111千円
◇タンクローリー購入費	46,000千円
◇測量・設計等委託費	19,100千円
◇海上出荷設備設計監理費	1,300千円
◇防災資材等購入費	12,900千円
◇備品購入費(機器・事務所備品等)	9,153千円
◇事務費等	3,346千円
合計	8億12,953千円

総括質疑

予算等に対する質問者
 平田文夫・高宮陽一
 是津輝和・安部和子

◆観光宣伝紹介事業
 309万円

体験型の観光商品の造成や観光ガイドの養成を行うもので、年間で1人の臨時職員を雇用する。
 (町観光協会に委託)

◆小中学校再編事業
 822万円

学校統廃合による複式学級解消のため、講師及び事務職員を配置するもので、年間で3人の雇用対策を図る。

その他の補正

◆消防車庫移転工事
 128万円

町有地売却により、栄町から西郷中学校裏の町有地に消防車庫を移転する。

◆新型インフルエンザ対策事業
 518万円

新型インフルエンザ発生に対応するため、防護服や備蓄食糧などを購入し保管する。

主な条例改正

□診療所の条例改正は、国内で新型インフルエンザの発生が確認された時に、発熱外来診療所の設置とその場所を決めるための改正。

□健康診査手数料条例改正は、肺がんの早期発見に有効な胸部CT検査を新たに加える。検診料金は一人2000円。

□畜産センターを廃止する条例は、昭和42年に建設された施設で老朽化が著しく、このたび条例を廃止し、施設はJA隠岐に譲渡する。



施設の有効利用を

●新型インフルエンザ対策費 518万円は？

平田議員 職員の対応マニュアル策定があまりにも、時間がかかり過ぎではないか。
 総務課長 早急に、策定する。

平田議員 国・県は対応マニュアルを策定し対応している。隠岐の島町は対応が遅い。策定時の住民周知はどうするか。
 総務課長 詳細は公表しないが、概要については広報、おしらせ便、HP等を使って周知する。

高宮議員 相当量の物資を保管することになるがその保管場所は。
 総務課長 本庁や各支所で保管する予定だ。

高宮議員 備蓄食糧の有効期間が5年となっているが、更新の考え方は。
 総務課長 適正な管理を行って更新する。

●AED設置費 451万円は？

平田議員 民間団体が設置するAED(心臓救命のための機器)と公共施設設置AEDとは価格が異なるのは。
 総務課長 執行にあたっては安価購入に努める。

平田議員 安価ではなく機能で求めるべきである。設置状況は。
 総務課長 今回を含め、町設置17箇所、寄付設置箇所6か所である。



いざという時のために！

●体験型観光定着化 促進事業費 309万円は？

高宮議員 4月に町職員を派遣したが、その上、

■中財産区管理委員会 委員の選任同意

中財産区管理委員会が、6月30日で任期満了となるため、次のとおり委員を選任する。(任期は平成25年6月30日までの5年間)

佐々木 秀人	井上 亮	藤野 正司	佐々木 雅秀
--------	------	-------	--------

■主な工事請負契約の締結

■蛸木漁港沖防波堤工事	徳畑建設(株)	60,165千円
■油井漁港防波堤工事	徳畑建設(株)	1億52,040千円
■公共下水道管路敷設工事(3号幹線その2)	(株)渡辺工務店	1億16,550千円
■公共下水道下西ポンプ場建設工事	(株)金田建設	56,700千円
■公共下水道下西ポンプ場電気機械設備工事	(有)旭電機	59,325千円

議員による提出議案

公共事業に係る発注体制について 地元企業の受注機会をより多くするよう求める決議

公共事業等の減少により、地域経済はますます低迷しており、地元企業の経営状況は極めて悪化し、存続そのものが危ぶまれる危機的状況となっている。町民の就業の場と雇用の安定を図り、安心して暮らしていくため、今後、隠岐の島町が発注する公共工事及び物品購入については、地元企業の受注機会をより多くするよう求める。

平成21年7月3日
 隠岐の島町議会

●教育費の 財源組替えは？

是津議員 小学校の臨時職員賃金が一般財源から緊急雇用創出補助金に組み替えられているが、この補助金は新たな雇用を創出するものだ。現在、雇用されている人に何故この補助金が使えるのか。
 企画財政課長 臨時職員は4月1日から雇用しているが、今年度で閉校となるための事務量の増加に対して、6カ月分を補助金で対応する。

臨時職員を雇用する必要性は。
 観光商工課長 有償ガイドの養成や組織化、パンフレットの作成等を主に行う。
 高宮議員 ガイド等の養成を行うなら、知識・資格等何らかの要件が必要か。
 観光商工課長 特別な資格は考えてない。

●旧空港ターミナル 改修事業費 3045万円は？

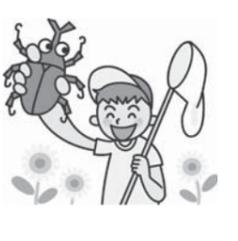
高宮議員 旧空港ターミナルを使用する場合は事業者が負担するものと思っていた。町が改修する根拠は。
 定住対策課長 町が譲り受け、IT産業のオフィスとして活用することとされていたので改修する。

●公民館 運営管理費 234万円は？

是津議員 公民館長兼務により2名の臨職採用で館長の人的不足の穴埋めが出来るか。また、従来どおり公民館活動が出来るのか。
 生涯学習課長 館長の勤務は、月・水・金が西郷、火曜が五箇、木曜が都万

●松くい虫危険 処理事業費 1000万円は？

安部和議員 松くい虫危険木処理について五箇保育園横の松が今回の処理に含まれているか。
 農林課長 他の公共施設も含め対応する。



一般質問

8人の議員が町政をたずねる!



石田茂春議員

新型インフル エンザの対応は

議員 5月に国内で初めて新型インフルエンザ感染者が確認され、その後数日で感染者が急増した。幸い隠岐の島町では町民の健康管理がしっかりしていたため、一人も感染者が出ていない。予防対策では、マスク、手洗い、うがい等が効果的といわれている。秋から冬にかけて第2波の新型インフルエンザが発生すると専門家は予想しているが、町はどう考えているか。また、マニュアルは出来ているか。

町長 行動計画は策定済みだが、業務継続計画や対応マニュアルは7月中旬に完成の予定だ。

議員 マスクは全世帯を視野に入れた備蓄を考えているのか。

町長 8万枚(一人5枚程度)の備蓄をする。



予防は手洗・うがいの徹底を

議員 発熱外来は、杉の子学園解体後、どのように考えているか。

町長 隠岐病院敷地内にプレハブで建設し、発熱外来に対応をする。

◎新しい学校給食センターの建設は

議員 平成21年度の学校給食方針が示され、基本目標と重点施策が明記されたことにより、給食内容の充実が図られることは好ましい。都万の学校給食センターは、平成7年に開設され、老朽化が顕著なため、行革による西郷給食センターへの統合が来年度に計画されている。しかし、西郷給食センターも平成10年設立で老朽化はすすんでいる。地元産物による地産地消の推進も図られているが、最適な貯蔵庫がないため限界がある。その上、21年4月から文科省の管理基準がより厳しくなった。思い切った適切な規模で食材貯蔵庫完備の学校給食センターを新築し、地元産物50%の食育推進を図る考えはないか。



安部和子議員

1. 学校給食センターの建設は
2. 町独自の交通網整備を



手狭になる給食センター

町長 隠岐保健所に現場での指導を仰ぎながら、安全で安心な給食の提供に努めているが、施設・設備の老朽化は避けられない。耐用年数等考慮し、年次計画をたて対応したいので、現段階での学校給食センターの新築は考えていない。また、食材貯蔵庫の整備は、野菜類等は一回で使い切る量を

◎町独自の

交通網の整備は 安部 まちづくり懇談会で高齢社会の交通問題が提起された。公共バス料金の値上げもあり町民の不満はつるばつあり。従来からの交通機関にとらわれることなく町独自の交通網整備を図るべきだ。

町長 町の地域公共交通会議で将来を見据え検討しているおり、本年10月を目途に判断する。



是津輝和議員

公民館の 体制強化を

議員 合併して5年目になるが、広くなった行政区域に伴い、自立した地域づくりを目指すため、特に「人づくり」の拠点である公民館活動は益々重要である。県も公民館活動の活性化が地域づくりに重要との認識で力をいれており、町が18年に策定した行財政改革実施計画書でも、今後、学校の統廃合を進めていく中で公民館を中心とした活動が更に重要になる」とある。しかし、本年3月には公民館組織を一本化する「中央公民館構想」が浮上し、4月からは都万、五箇の館長を西郷公民館長が兼務する等、必ずしも公民館活動が充実されていない。法律では、「公民館の館長職員は、教育長が推薦し、教育委員会が任命する」とある。この度の館長や職員人事



公民館運営のゆくへは

の推薦、任命の経緯と館長兼務の理由は、**教育長** 職員人事は町長部局の人事と連携して協議の上、一体的に行っている。公民館長の人選も協議の上、教育委員会に推薦し任命した。兼務の理由は3月議会で中央公民館体制の議案を撤回したため、日数が少なく、新しい管理職の登用は、町の行財政改革上難しいので兼務とした。

議員 3月の教育委員会協議事項には、人事案件

は出てなかった。その理由を職員に尋ねたら「人事は秘密会で行った」とのことだが、きちんと議事案件として対処すべきではないのか。秘密会での報告で済ましてはならない。町長部局の行財政改革に振り回されるのではなく、教育委員会自体の改革をするなど教育行政にかかわる事を堂々と主張すべきだ。人選は役場の職員からでなくてもよく、社会教育行政の専門性を養成するために、一般からの任用が望ましいのではないのか。教育委員会は、もともと自覚を持って取り組むべきと思うが。

教育長 教育委員会は町長部局から、独立しているのは承知している。町が行革を進める中で協力しないわけにはいかない。公民館長の兼務の件は、3月26日の教育委員会で推薦し、承認を得て任命した。また、一般からの人選についても協議したが、結果的に出来なかった。



前田芳樹議員

1. 若者達に安定した雇用機会を
2. 下水道整備は地域間公平性を
3. 竹島の復権運動の展開は
4. 農業公社の将来展望は

議員 島の産業経済は危機的状況で一段と加速し対策が急務。島に帰って住みたいという若者達は島では生活設計が出来ないので帰れないという点が課題。若者が住めない増えない社会は衰退するのは当然で、小子化と人口減少が加速し、やがて介護福祉も成り立たなくなる。島の将来のために少し財政再建のスピードを緩めてでも若者達の安定した雇用機会の創出と島内定住対策に懸命に取り組み援助をして行くべきと思うが。

町長 若者の安定した雇用創出への財政出動は重要事項として捉えており今年4月、定住対策課に企業支援係を設置し取組み強化をしている。

議員 下水道整備は、地域間の公平性を保つためにも全域同時に進めるべ



安定した雇用対策を

き。伊後・西村・中村・元屋・五箇の重瀬川流域はいつになるのかわからない。並行施工を。

町長 平成22年度に大久・23年に五箇農集・29年に中村漁集を並行して実施する。

議員 竹島の領有権及び漁業権の回復運動は、ここで諦める訳にはいかない。町は、竹島大会を隠岐で久々に開催したり、竹島漁撈歴史記念館を建設するなど、当事者として取り組むべきと思うが。

町長 現在、国の所管部署の設置を最優先課題として訴え続け、竹島漁撈歴史記念館は設置しないと将来に禍根を残すと毎年訴えている。

議員 島内の水田耕作の現状は、農業公社・認定農業者への委託が大変進んでおり、これから格段に進行し、農地保全には公社の縮小民営化どころか公社拡大の必然性が増して来る。その存続・農地保全・水田耕作体制の将来展望はどうか。

町長 農業公社のあるべき姿を模索する公社組織検討会からの答申を受け、担い手への農地集積と生産法人設立で公社の組織改善をして行く考えだ。

議員 公社は全額町出資で町が主導的な役割を果たすべきだ。安易な組織改変は戒めて慎重に方向性を探るべきだが。

町長 農地保全管理は非常に大事な事。安易な移行ではなく、真にどうあるべきか公社問題を含め検討を指示している。



齋藤幸広議員

学校の校区制度はどうするのか

議員 ①小中学校の校区制度は今後も続けるか。②校区外入学を認める場合があるが、現状はどうなっているか。③保育所には校区のような制度がないので居住地にとらわれることなく保育所を選ぶ保護者が増えている。小学校入学時に、保育所での友達が多い小学校に

入学させたいなどを理由として校区外入学の申請が増えると考えられるがどうするか。

教育長 ①法令に基づき学校通学区規則を定め通学区を指定しており今後も規則に基づき対応する。②小学校では73名、中学校では23名の申請があり、その理由が許可基



守れるか！校区制度

準を満たしているので全員校区外入学を許可した。③幼児期のつながりだけを理由に入学を許可することはない。

議員 校区外入学の申請が100%許可されている。より教育環境の整った学校に入りたいという保護者が増えると考えられる。更に、ある保育所にはこれまでにない規模で広範囲から児童が集まっており、このような状況を見ると色々な理由で校区外入学の申請が増えてくる恐れがある。今から保育所の保護者への校区制度の説明が必要であり、許可基準の見直しが必要かどうか、教育委員会で議論を深め方針を出すべきではないか。

教育長 校区制度を保護者にしっかりと示し、コメンタスを得るべく議論していく。校区制度は将来の学校再編にも関係することであり、学校運営とも密接な関わりがあるので、保護者や先生方の声を聞き、総合的な検討をしていく。

◎新型インフルエンザ

感染対策は

議員 世界保健機構は、6月11日に新型インフルエンザの警戒水準を「フェーズ6」の最高水準に引き上げ、世界的大流行を宣言した。日本では死者が出るほどのものではないため、状況を見守り対応する。水際防疫だの、学校休校などの処置は取らなくなっている。この

気の緩みを専門家は大いに心配しており、今年の秋には第2波が予想されている。

私は2度にわたり一般質問で防疫対策を尋ねたが、町長は「今少し状況を見守る」との答弁だった。これが本格的に流行したら、医療機関の破綻、物流等社会基盤の機能低下・経済活動の打撃など多方面に影響が出ると予想される。私は以前から



世界へ発信！

隠岐の防災対策マニュアルを作成しておく必要があると指摘したが、町長 対策行動計画書は既に出来上がり、対応マニュアルは7月中に完成し、町民に周知する。

◎日本ジオパーク

登録活動は

議員 21年6月15日に「隠岐ジオパーク推進連絡協議会」が設立され2年後の「世界ジオパーク」への登録申請を目指し、



齋藤昭一議員

1. 新型インフルエンザ対策は 2. 日本ジオパーク登録活動は

町長 専門的な事業内容で流入人口の多くは望めないが、未知数な面があり、登録に向けて努力する。



子どもたちに夢を！

議員 将来の隠岐の島町を考えた時に、今の若者の考えや力が重要だ。しかし、現状は厳しく、「雇用が少ない」「職種が少なく選べない」「就職しても将来を考えると不安だ」と、隠岐びとの心を持った若者達が島外に行っている。町長はこのような若者の雇用問題にどのような対策を考えているか。また、隠岐の島町には、海・山といった全国に誇れる自然があり観光名所もたくさんある。しかし、「商店や町全体に元気がなく、自然だけでは楽しみがない」と思っている若者が多くいる。隠岐の島町に住んでいる若者や、Iターン・Uターンをして隠岐の島町に住もうと考える若者にとって、魅力を感じられる町、若者のニーズに合った町にしていくために、

町長はどのような方針で町政を進めていくのか。

町長 本町における若者の雇用問題は、企業コストの問題から、おのずと業種が限られるので、一朝一夕に企業を誘致することは困難である。現在島の資源を活用しながら島の環境にやさしい循環型の社会の構築を目指した環境産業の育成に取り組んでいる。また定着するには時間がかかるが、「隠岐に帰って働こう」



安部大助議員

若者の定住と魅力あるまちづくりは

といえる環境づくりの一步が始まったところだ。今後は観光を全面に押し出し、若者が安心して住める魅力ある町づくりに向けて取り組む。

議員 若者にとっての魅力ある町には、観光や雇用も大事なことであるが島内には買い物する場所が少なく、不便で楽しみがないと思う若者が多くいる。若者のニーズにあった町づくりについて町長の考えは。

町長 私も若い人たちと懇談会をする中で、「娯楽施設が少ない」「買い物ができる場所を多くして欲しい」など、多くの意見を聞いている。しかし、本土のように娯楽施設を作るうえで、離島であるというリスクを負いながら経営していくことは大変で、行政だけでは難しい。私は、国境の島の活性化を国に働きかけていくことが大切だと考える。また、民間の方々にも積極的に取り組んでもらわなくてはならない課題でもある。



池田信博議員

1. 町独自の子育て支援策を 2. 雇用の確保は 3. 土地利用計画は

◎町独自の支援策は 議員 子育てしやすい町にするために隠岐の島町独自の支援策の創設と保育料及び就学前児童医療費の完全無料化に向けて協議せよ。

町長 子育て支援策は次世代育成行動計画に基づき、国・県の補助事業を取り入れながら実施している。子育て家庭の経済的負担の緩和を図るため、本町独自の保育料軽減を実施することが最善策と判断し、今年度より実施している。

議員 子供を増やすように仕掛ける体制の整備、意識改革ができるように思い切った政策を打たなければならぬ。保育料の完全無料化、隠岐の島町独自の支援策、就学前児童医療費の完全無料化等、思い切った政策を実

施して、島の明日につながるように本気で考えよ。

町長 子供を増やす環境をつくるため、企業立地を推進する係をつくって起業支援にも取り組んでいる。子育て支援については3500万円程度かけて保育料を国基準より大幅に下げ、保育している皆様方の一助になればということでの対策をとっている。



期待される雇用の場

◎雇用の場の確保は 議員 今年度より島内事業者がコールセンター業を起業し、多くの人を雇用して事業を開始した。雇用の継続が可能となるよう、引き続き、出来る支援はすべきだ。町長が出来る雇用の場の確保策は。

町長 木質バイオマス事業により林業や建設業などの異業種を活性化させ環境産業の振興につながる次世代産業を育成したい。本町の産業を振興し地域に雇用の場を確保する。

◎土地利用計画は 議員 土地利用計画は早急に策定すると言いつながら2年も3年もほったらかしになっている。まさに雇用の場の確保につながる。早急に策定せよ。

町長 委員会でも指摘されている。所管する企画財政課を中心に、農林課観光商工課が一緒になって早急につくる。

総務産業建設常任委員会

◆委員長報告

石田 茂春

審査の状況

工事の事前着工は問題!

◇補正予算関係

隠岐ITセンターの設置は、IT産業の振興や若者・Uターン者の雇用の場を提供するものだが、今回の旧空港ターミナルの整備事業は説明がなかった。今後は随時、経過報告をするよう指摘した。また利用にあつ



移転新築の消防車庫

ては全フロアーを有効活用するよう指摘

地上デジタル放送環境整備事業費のテレビ購入は、小売店にも配慮し慎重に行なうよう指摘した。消防車庫移設工事費は緊急性があるとしても議会軽視ではなかったか。今後十分注意するよう指摘した。

その他、今議会で付託された案件は全会一致で「可決すべし」とした。

調査研究事項

◎農業公社

農業公社は、年内に方向性を出すように要請した。また、施設管理の徹底、作業体制のあり方など、進捗状況を随時説明するよう指摘。

◎土地開発公社

土地開発公社は、不安



町税等の収納対策は?

滞納対策の強化を!

滞納額は2億8500万円

各種の税料金滞納額は2億8500万円余りで不納欠損額は3900万円となっており、収納率は89.%(5月20日現在)である。

最終的には97%の予定とのことだが、悪質滞納者には今まで以上に差し押さえも含めて対応を強化することが必要だ。

◎株ふせの里

株ふせの里の事業計画で、議会会期中に事業内容を変更するようなことは軽率である。今後は、慎重を期するよう指摘。

◎土地利用計画書

土地利用計画書は何年も放置したままである。速やかに着手するよう指摘し、いつから作業に着手するのか、報告を求めた。

行財政改革推進委員会を設置

町は、平成22年度から26年度まで(5カ年間)の行財政改革を進めるために、公募員を含めて10名構成の行財政改革推進委員会を設置した。第2次行財政改革大綱を12月までに策定するとのことである。

特別委員会を設置しており、これと並行して具体的な改革案を提案する予定である。



教育民生常任委員会

◆委員長報告

安部 和子

審査の状況

◇補正予算関係

中村中学校通学路舗装工事は、通学環境を改善するため、中村保育園と学校間のジャリ道を舗装するものである。しかし緊急を要するため、4月に仮契約を締結して着工し、工事は既に完了していることが発覚した。



納骨堂整備予定地

この工事は、緊急を要することは理解できるが議会の議決得ずして着工したこと、また、業務の執行にあたって職務上のルールが守られていないことが大きな問題であった等が大きな問題である。更に、事態発覚後の報告や説明責任等、教育委員会及び町執行部の対応も問題である。

今後は、職務上のルールを守り業務執行を行なうよう組織上の問題も含め早急に改善を図るよう強く反省を求めた。

町の共同墓地が手狭になったため、身元不明者等の納骨堂を整備する。常任委員会では、この際、各地区にある無縁墓地も合わせて整備すべきとの指摘をした結果、各地区にある12箇所の無縁墓地も合わせ、町全体の納骨堂を整備することに

調査研究事項

中央公民館制度は是非か?

その他、今議会で付託された案件は全会一致で「可決すべし」とした。

隠岐の島町の公民館のあり方については、昨年12月定例会での一般質問の町長答弁で、中央公民館制度にすることが明らかとなったが、このことは一度も当委員会で協議もされず、常任委員会では、今後、慎重に対応するよう指摘していた事項であった。

しかしながら、本年3月定例会において中央公民館制度にする条例改正が提案されたため、大きな議論となった。

議論の発端は、教育委員会事務局が、関係機関等との十分な審議をしないままに、行財政改革の名のもとに中央公民館制度



を強行しようとしたもので教育委員会の委員や、公民館運営審議会の委員の皆さんからも不満の声が続出していった。

その後の教育委員会からの説明では、公民館体制だけのことが説明され「公民館がどのような役割を果たすのか、地域における公民館活動として何をやるのか」などの質問に対しては、「今後協議する。」との答弁だった。

当委員会では、「公民館がどのような役割を果たすのか、そのための体制はどうするのか。」このことを基本として検討すべきと指摘し、公民館の条例改正は、関係機関の十

分な審議や理解が得られていないことで、議案を撤回させた。しかし4月以降も、中央公民館を想定したような事が行われており、教育委員会並びに町執行部は議案撤回の重みも考えてないことは大変残念である。

◎学校給食費の

見直しを検討!

教育委員会事務局より、学校給食費の見直しについて意見を求められ、状況説明を受け意見交換を行なった。これは、隠岐の島町の学校給食費が島根県下で最も高いことが理由である。今後は、学校給食あり方も含め、給食センター運営、地元産物の利用など、調査する。

◇私立保育連盟隠岐支部との意見交換を行ったがより良い保育環境を整えるには何が必要か、大きな課題である。



常任委員会報告



常任委員会報告

医療対策特別委員会

吉田 政司

医師招聘や病院建設に関する事項を調査研究する目的で設置された特別委員会だが、基本的には改選前の方針に基づいて活動し、提案した政策の実現に向けて取り組む。

更に、島内での安心安全な出産体制の確立のため、不足している産婦人科医師の招聘に向け、町や関係機関と力を合わせ次の3点を中心に積極的に取り組む。

- ① 歯科医師2名体制を見直し、22年度から1名体制にすること。
- ② 町の医師を3名から、4名体制にすること。
- ③ 産婦人科医師を招聘すること。

これらに関する問題点や課題は、例えば、関係機関の医療提供の方針を十分に理解を深めることが必要であり、また、健康づくりや在宅医療の推



診療所の強化を

進を具体的にどう進めるのか、掘り下げた検討も必要である。

従って、これらの課題を今一度整理すると共に現状の把握・検証を行いながら取り組みを進める。

医師・看護師など医療スタッフ情報をお待ちしています!

隠岐広域連合議会報告

松森 豊

去る6月2日に第2回定例会が開催された。

冒頭、松田広域連合長から次の報告があった。

隠岐病院建設の基本設計業務を担当する業者に株式会社大阪支社を選定した。選定方法はプロポーザル方式により5月23日に公開ヒヤリングを実施し、6社から提案を受けた。その後、建築に関する有識者、構成団体及び病院関係者で構成する7人のプロポーザル審査委員会で決定した。

隠岐島前病院は、看護師が不足しており、隠岐病院からの派遣により夜勤の出来る体制を確保したが、引き続き人材確保に向けて取り組むこととしている。また、医薬分野では、5月1日から「スイング島前薬局」が開局した。

定例会では、構成団体である隠岐の島町議会

員の改選に伴い新たに6名の議員が選出され、議長に海士町選出の波多紀昭氏が、副議長に隠岐の島町選出の松森豊氏が就任した。同時に委員会構成等、新しい議会体制が決定した。

主な議案は、各事業会計予算のすべてが決算見込みによる予算調整のための補正予算であり、提案された議案は、すべて原案どおり承認した。

また、任期満了による議員選出の監査委員には、隠岐の島町選出の池田信博氏が選任された。

動き出した病院整備!

夜間救急入口



動き出した病院整備!

皆さんの
ご意見・ご要望
を
お待ちしております

採 択

- 平集会所を公共下水道供用開始後、早期改築を要望する陳情
- ・ 提出者 平区長 横地正好氏

継続審査

- 肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書の提出について
- ・ 提出者 薬害C型肝炎しまね弁護団代表 妻波俊一郎氏

- 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策の陳情
- ・ 提出者 全日本海員組合中四国地方支部長 三次二郎氏

編集後記

国政においては、経済不況や雇用対策のため、さまざまな交付金を地方自治体に交付し、本町でも、3月議会と4億4千万円、7月には5億5千万円の補正予算も予定されていますが、これで根本的な解決につながるだろうか。

議会も新体制が整い「議会だより7月号」をお届けいたします。議会広報の使命である「議会の議論内容を正確に伝える」ことを基本として、今後も努力してまいります。

議会広報特別委員会

高宮陽一・安部大助
前田芳樹・齋藤昭一
遠藤義光・小野昌士

